



大船渡猫友会の皆さん



事務所で打ち合わせをする事務所の皆さん



猟銃の取り扱いを訓練している様子



特集

私たちの命と 暮らしを守る最前線

「大船渡猫友会の思いと、クマ出没への備え」

近年、全国的にクマの出没が相次ぎ、

重大な社会問題となっています。

当市においても例外ではなく、昨今もツキノワグマが

頻繁に目撃されている中で、市民の安全・安心な

暮らしを守るため、危険と隣り合わせの最前線で

活動が続けている「大船渡猫友会」の存在意義が、

これまで以上に高まっています。

大船渡市鳥獣被害対策実施隊

大船渡市鳥獣被害対策実施隊は、鳥獣による農林水産業などへの被害を防止・軽減するための組織です。大船渡猫友会が推薦する人や市職員が、市長から委嘱・任命を受け、隊員として活動します。

■鳥獣被害対策実施隊の役割

【有害鳥獣の捕獲】

シカ、イノシシ、クマなどの「捕獲」や「わな」の設置・見回りを行います。

【被害状況の調査とパトロール】

野生鳥獣の生息状況や痕跡、農作物被害の調査、クマやイノシシが出没した際のパトロールを行います。

【緊急出動】

人的被害を防止するため、市街地における緊急銃猟などを行います。

【指導・啓発】

農地などでの被害防止対策に関する助言や指導、捕獲技術の向上、担い手の育成などを行います。

■猫友会に入会するためには

猫友会に入会できる人は、市内に住所がある人です。

次の①、②の流れで猫友会に入会することができます。

①免許の取得

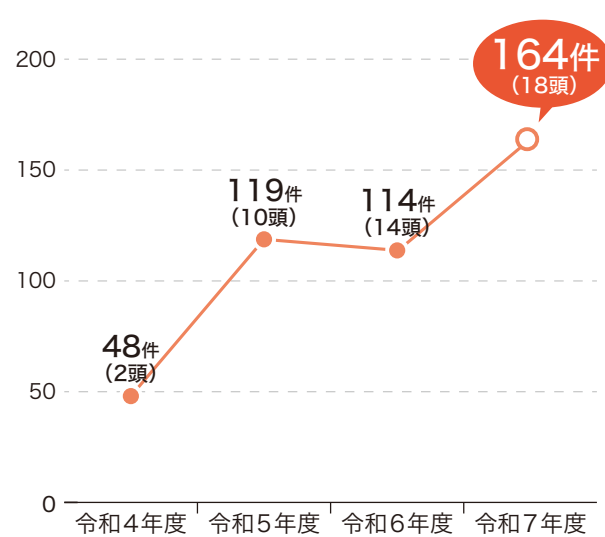
岩手県が実施する「狩猟免許試験」を受験し、「第一種銃猟免許」や「わな猟免許」などを取得します。

※銃猟を使用して活動する場合は、公安委員会から「鉄砲所持許可」を取得する必要があります。

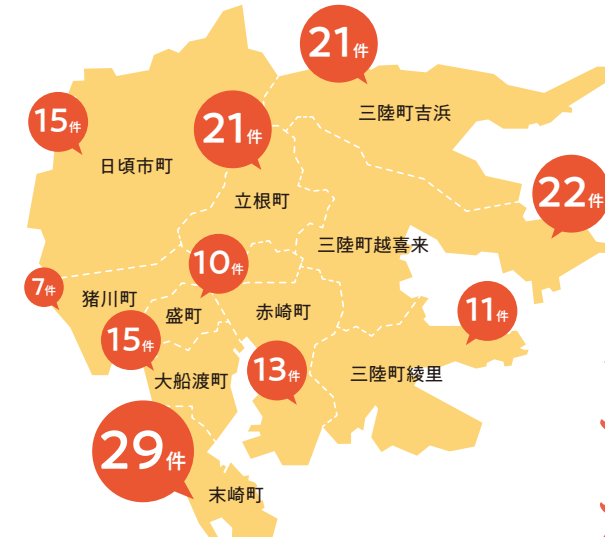
②狩猟者登録手続き

大船渡猫友会事務局に問い合わせ、必要書類と入会金を準備して、狩猟者登録を行います。

■クマ通報件数(捕獲頭数)



■令和7年度 地域別クマ出没件数



クマから身を守るために――

- クマに遭遇しないためには？
 - 農作業などの注意点
 - ラジオなど音の出るものを持ち、存在をアピールする。
 - クマの行動が活発な早朝、夕方、特に周囲を確認する。
 - 低木などの刈り払いを行う。
 - 単独での作業を避け、できるだけ複数人で作業を行う。
 - 各家庭で気をつけること
 - 生ごみや野菜くずを適切に処理する。
 - 収穫していないクワ、カキ、クルミ、クリなどを放置しない。
 - 家屋の施設管理を徹底する。
 - 蒸発しやすいガソリンやアルコールなどは、クマが寄ってくる要因となることがあるため、注意して保管する。
- クマに遭遇してしまったら？
 - 落ち着いて、クマに背を向けずに、ゆっくりその場から離れる。
 - クマが驚くため、大声を出したり、走って逃げたりしない。
- クマが突進してきたら？
 - クマとの間に立木などの障害物が来るようにし、万が一の突進に備える。
 - 近くに親グマがいるので、子グマを見ても近づかない。
 - 途中で止まり後退することがあるため、その場合は落ち着いてその場からゆっくり離れ続ける。
 - 襲われてしまったら、うつ伏せになって、顔と腹部を守り、頭の後ろに両手を回して首と頭部を守る。転がされても、元の姿勢に戻る。
 - クマスプレーを持っている場合は、4〜5メートルまで近づかれた時点で全量を一気に噴射する。
 - クマを目撃したら、農林課林業係（☎27・3111、内線353）または大船渡警察署（☎26・0110）までご連絡ください。

ACCESS



毎週月曜日の午後6時から7時の間は、猟友会の事務所で打ち合わせや事務作業をしています。猟友会に興味がある、話を聞いてみたいという人は、ぜひ気軽に立ち寄っていただきたいです。



大船渡猟友会前会長

さとう 佐藤 武さん



大船渡猟友会会長

みずの さとる 水野 悟さん

―猟友会に入ろうと思ったきっかけは？

佐藤さん 祖父・父が猟友会の会員として活動しており、自然と自分も猟友会の一員として活動するものだと思っていました。

水野さん 友人のお父さんが狩猟をする姿を小さいころから見ていて、興味を持ち始めたのがきっかけです。

若手の猟友会会員にもお話を聞きました！



興味のある人は、ぜひ猟友会に入ってください、狩猟に関する情報収集や仲間づくりを通じて、狩猟の楽しさを感じてほしいです。

大船渡市農林水産部農林課 多田尚平さん

―猟友会に入ろうと思ったきっかけは？

A 鳥獣が身近にいる山間部で育ち、昔から狩猟に興味がありました。大船渡市に移住してから、仕事で鳥獣被害対応をすることがあり、自分も狩猟に携わりたいと思ったことがきっかけで、猟友会に入会しました。―全国的にクマの出没が増えていますが、現場で活動されていて、肌で感じる変化はありますか。

A 数年前までは市街地へのクマの出没数がこれほど多くなかったため、個体数の増加や、クマが人里を怖がらなくなっているように感じます。

―危険と隣り合わせの活動だと思いますが、「地域を守る」という役割に対して、どのような思いで活動されていますか。

佐藤さん 活動を始めた当初はジビエ料理を楽しむためという目的で狩猟していましたが、今は地域の人を守るためという役割に変化しているので、やりがいを感じながら活動しています。

水野さん 猟友会は、鉄砲を持って山に入ることによって動物に人間の怖さを伝える重要な活動だと思っています。山に入って狩猟することで動物が人間を見たら逃げようになり、出没予防につながります。人に危害が加わらないよう、活動することを心がけています。―活動をしている中で、喜びを感じるのはどのような時ですか？

佐藤さん 市民の方から感謝の言葉をもらった時がとてもうれしかったです。銃を使って猟をすることが、市民の方から敬遠されているのではという不安もあったので、感謝の言葉をいただけたらとても励みになります。

水野さん 狩猟が好きで猟友会に入会したので、私と同じように狩猟が好きな猟友会の仲間と活動することによって喜びを感じています。

―危険と隣り合わせの活動だと思いますが、「地域を守る」という役割に対して、どのような思いで活動されていますか。

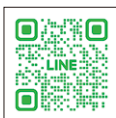
A 市内外問わず、鳥獣による農作物被害や人身被害が発生しているので、猟友会のメンバーと自分自身の安全を第一に考えながら、住民の皆さんの安全確保に貢献したいと思っています。

―これまでの出動で、特に印象に残っている出来事や苦労したエピソードがあれば教えてください。

A 末崎町で実施した、市で初となる緊急銃猟が特に印象に残っています。緊迫した状況でも正確に対応した大先輩の腕前に感服しました。

市公式LINEでクマ出没情報を配信中！

クマの情報を受け取るためには、1分でもできる受信設定が必要です。設定すれば、お住まいの地域だけでなく、市内全体の出没情報も受信できます。



友だち登録はこちら

友だち追加方法

- ▶二次元コードで登録
- 友だち追加>コード読み取り
- ▶IDで登録
- 友だち追加>ID検索
- ID: @ofunato_city



使ってみよう

ベアーズ Bearsでクマの出没情報が確認できます

岩手県が3月から運用を開始した、クマの出没情報をスマートフォンで投稿し、地図上ですぐに閲覧できるアプリです。市民の皆さんがクマを目撃した際に、直接アプリに登録できるほか、電話などで市に寄せられたクマの出没情報を随時投稿します。



利用方法の詳細はこちら

